

# はだの歴史博物館ニュース



Vol. 15 令和6年度 夏号

HADANO HISTORY MUSEUM NEWS

## 企画展

### 「丹沢に魅せられた人々」

平成28年に8月11日が「山の日」に制定され、国民の祝日となりました。秦野盆地の東・北・西には丹沢の山々が広がっており、秦野市は「OMOTAN」というキャッチフレーズで近年、その魅力を発信しています。

本企画展では、「山の日」に合わせ、丹沢登山が始まった明治、大正時代の黎明期、令和5年に発足90年を迎えた秦野山岳会、丹沢の写真を多く残した岩田傳三郎に焦点をあて、書籍や寄贈資料・写真から解説します。

日 程 令和6年8月10日(土)～10月6日(日)

時 間 午前9時～午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

場 所 はだの歴史博物館 第一企画展示室

- 展示内容
- (1) 丹沢登山の黎明期
  - (2) 秦野山岳会
  - (3) 丹沢を愛した岩田傳三郎
  - (4) ミニ特集 丹沢の絵葉書
  - (5) 映像



岩田傳三郎氏撮影 みやま山荘

## アーネスト・サトウもみた蓑毛の閻魔

企画展「丹沢に魅せられた人々」では、近代登山が始まった明治・大正時代に丹沢に魅せられた人々をテーマの一つとして紹介します。

ここでは、幕末から明治に日本を訪れ、イギリスの外交官として活躍したアーネスト・メイソン・サトウ(Ernest Mason Satow)について紹介します。

サトウは1843年にイギリスのロンドンに生まれました。姓の「サトウ」はドイツ北東部に移住したスラブ系ヴェンド人に由来します。彼は文久2年(1862)にイギリス駐日公使館の通訳生として横浜に着任し、その後、通訳官、駐日公使となりますが、その傍ら日本各地を旅行しています。また、山好きで富士山や箱根と様々な山を訪れています。

彼の日記(『日本旅行日記2』)をみると丹沢にも訪れていることがわかります。明治6年(1873)に横浜のイギリス領事裁判所の裁判官ハンネンとその妻、同僚のアトキンソンとともに大山から宮ヶ瀬を訪れています。



アーネスト・サトウ  
『日本旅行日記1』平凡社より



蓑毛地藏堂内 木造十王像(市指定重要文化財)

その途中で蓑毛に行き、1泊しています。その際、彼は「蓑毛周辺にはいくつかの仏教寺院があり、その中の一つには悪鬼を描いた見事な所蔵物がある」と記しています。この悪鬼は、蓑毛地藏堂に安置されている市指定重要文化財 木造十王像だったのかもしれませんが。

その後、蓑毛から八丁台(旧ヤビツ峠か)と呼ばれる山から景色を眺め、札掛で宿泊し、

宮ヶ瀬へ出ています。

サトウは、多くの山々を登り日本の近代登山を語る上で重要な人物ですが、その子で植物学者として知られる武田久吉は、近代登山、そして、丹沢登山を語るうえで重要な人物です。続きは企画展で、、、

はだの歴史博物館 学芸員 横山諒人



# はだの 歴史探検



今年の夏休みも、はだの歴史探検(クイズラリー)を実施します。  
未就学児童から中学生、さらには大人まで皆、楽しみながら秦野の  
歴史を学んでいただけます。

**開催日時** 令和6年7月27日(土)から令和7年3月30日(日)まで

参加賞がなくなり次第終了

**参加費** 無料(参加賞のプレゼントあり)

**参加方法** はだの歴史博物館の受付で、お申し出ください。

開館日はいつでも受け付けます

## 企画展予告

### 「丹沢・大山と秦野の修験

### －その歴史と伝説」



丹沢には、古来より山岳信仰の対象として崇拝されてきた大山などで、  
山林修行をする僧や修験者が縦走していました。今回の展示では秦野市域  
における修験の歴史を概観し、秦野にかかわる人々の様子をパネル中心に  
紹介します。

**日 程** 令和6年9月3日(火)～10月27日(日)

**時 間** 午前9時～午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

**場 所** はだの歴史博物館 第二企画展示室

**展示内容** 修験の歴史と丹沢・大山 ほか

# 令和6年度 ミュージアムさくら工房 「親子まが玉作り教室」開催のお知らせ

## 古代人のアクセサリー“まが玉”を作しましょう

昔の人の装身具である“まが玉”を作ることを通して小学生やその保護者の方々に歴史に対する興味・関心をもっていただくことを目的としています。  
丁寧に指導しますのでお子様や初めての方でも完成させることができます。



展示されている桜土手1号墳から出土したまが玉



参加者作品例

日時 令和6年7月24日(水)から7月27日(土)の  
4日間のうちの1日 午前9時から正午まで

場所 はだの歴史博物館 第一企画展示室

申し込み **7月2日(火)より申し込み受付開始**

当博物館にお電話ください(0463-87-5542)

毎日8組限定(一組最大4名 先着順)

参加費 材料費として500円/まが玉二つ分(2名)

3~4名の場合まが玉4個分 合計 500円 x2=1000円

対象 小学3年生から6年生とその保護者

(小学4年生以上は児童のみでの参加も可能です)

ただし送迎は保護者の方をお願いします)

金鋸などを使用するので安全のため未就学児童は参加できません

持ち物 雑巾かハンドタオル 汚れてもよい服装 筆記用具 飲み物





## 企画展

# 「怪異と妖怪の世界」

怪談は夏の風物詩の一つです。妖怪や不思議な話に、「怖い」と思いながらもつい耳を傾けてしまう方も多いことでしょう。

『秦野市史 別巻 民俗編』には、「口承文芸」にあたる「昔話・世話話・伝説」およそ 400 話が掲載されています。これは市内で約1年間にわたり採集されたもので、怪異や妖怪にまつわる話も一定の割合を占めています。

今回の企画展では、これらの話を紹介するとともに、秦野市文化振興課 浮世絵ギャラリー所蔵の浮世絵も紹介し、怪異と妖怪の世界へ、みなさんを招待いたします。

日 程 令和 6 年 6 月 22 日(土)～8 月 18 日(日)

時 間 午前 9 時～午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)

場 所 はだの歴史博物館

第二企画展示室

展示内容 1. カンスコロガシ

2. 餓鬼道

3. 狐火

4. キツネ火

5. 深山の美人

6. 目一つ小僧

7. 雷獣

8. 踊宮

9. 古塚之碑



目一つ小僧を退散させる目カゴ  
(ゴト八日の行事)



かつて旧ヤビツ峠に神奈川県が設置した  
「餓鬼道のいわれ」の看板

令和6年度 第3回  
「ミュージアムさくら塾」 開催のお知らせ

令和6年度 第3回目のミュージアムさくら塾を開催します。

テーマ：(仮題)「江戸時代の丹沢御林と山守」

江戸時代の丹沢には御林と呼ばれる幕府直轄の森林や、それを管理する人々がいました。当時の丹沢山林の様子について、これまでの研究成果をもとに解説します。

日 時 令和6年8月10日(土) 午前10時～正午

場 所 はだの歴史博物館 第一企画展示室

申込み はだの歴史博物館に電話で事前予約

(7月15日受付開始 電話 0463-87-5542)

参加費 200円

講 師 国際基督教大学教養学部

アーツ・サイエンス学科 椿田有希子氏

＜はだの歴史博物館へのアクセス＞

☆小田急線渋沢駅北口より徒歩20分

〃 バス秦54 秦野駅行「桜土手古墳公園」下車徒歩2分

〃 バス秦12 秦野駅行「古墳公園前」下車徒歩3分

〃 バス渋05 高砂車庫前行「桜土手古墳公園」下車徒歩2分

☆小田急線秦野駅北口より

〃 バス秦54 渋沢駅北口行「桜土手古墳公園」下車徒歩2分

〃 バス秦12 渋沢駅北口行「古墳公園前」下車徒歩3分

☆入館無料 開館時間午前9時～午後5時 駐車場有

(月曜と祝日の翌平日・年末年始は休館)(入館は午後4:30まで)

はだの歴史博物館ニュース Vol. 15 令和6年度 夏号

発行日 令和6年6月24日

編集発行 はだの歴史博物館

〒259-1304 神奈川県秦野市堀山下380-3

TEL 0463-87-5542 FAX 0463-87-5794

ホームページ : はだの歴史博物館

検索

